

編集後記

本号は「土工特集」ということで、土を動かす工事についての諸々を取り上げました。一般論として土工事に関わる行政情報や調査、設計の最新情報の紹介、土工事の基本工種である掘削、積込、運搬に関わる建設機械の変遷と技術情報、そして代表的な土工事現場の紹介という構成になっています。行政情報では昨今話題となっているユニットプライス型積算方式を取り上げ、また調査、設計においては各発注機関の研究動向や土工事の計画段階における先端技術を紹介しました。特集報文としては建設機械の最新情報の他、無人ダンプトラックの稼働が始まった国内鉱山や携帯電話を利用した遠隔操作など、アプリケーションにおける先端技術を紹介しています。これらは、土工事現場の究極の安全を確立する近未来の技術として特筆すべきものだと考えています。また土工の現場紹介では、何れも数百万立米という大量の土を動かす、国内では最大規模の現場を紹介しました。出来型を正確に仕上げる最新技術や、超大型の建設機械を効率的に運用する手法など、読者の皆様にご参考になれば幸いです。

土工事のほとんどは公共工事ですが、最近の公共投資は予算が減額される一方です。この経済危機においても、諸外国では景気浮揚の一策として公共投資が積極的に行われているのに比して、日本でその議論は今ひとつ盛り上がっていないように見受けられます。観光分野に関する各国の比較においても、日本は街並みの美しさや交通インフラ（特に高速道路網）において低位に位置するそうです。卑近な例ではありますが、近所へ買い物に行くためにベビーカーを押して、人とすれ違えない電柱のはみ出た歩道、段差の高い車道との境界、などなど多くの不便を経験します。まだまだ我が国のインフラ整備は途上である、と言わざるを得ないのではないのでしょうか？世界第二位の経済大国として、他の先進各国に比べて遜色の無い社会インフラの実現と、未来の我々の子孫が安心、安全で国際競争力のある国土に暮らせるよう、今この時期に投資を英断することは決して無駄にはならないと思うのですが。。。

最後になりますが、お忙しい中本号に対してご執筆頂きました皆様に、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

(岡本・山本)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
上東 公民	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

岡崎 治義 (社)日本建設機械化協会

編集委員

廣松 新	国土交通省
浜口 信彦	国土交通省
米田 隆一	農林水産省
小沼 健一	(独)鉄道・運輸機構
野村 英孝	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
平子 啓二	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	川崎重工業(株)
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
宮崎 貴志	(株)竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業(株)
斉藤 徹	(株)NIPPO コーポレーション
高木 幸雄	日本道路(株)
三柳 直毅	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機製造(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
久留島匡繕	五洋建設(株)
藤田 一宏	施工技術総合研究所

4月号「解体・リサイクル特集」予告

- ・建設リサイクル制度の施行状況の評価・検討
- ・フォームドアスファルト道路の解体
- ・人と環境に優しい高層ビルの解体工法の開発と適用 -カットアンドダウン工法(KC & D工法) -
- ・乾式ダイヤモンド工法
- ・アスファルト舗装の再生技術
- ・次世代マニピュレータによる廃棄物分離・選別システムの開発
- ・フッ素不溶化処理工法
- ・コンクリート塊を全量リサイクルする リ・パースコンクリートの現状について
- ・中間処理施設における建設混合廃棄物のリサイクル
- ・土壌洗浄プラント
- ・世界一の作業高さの解体専用機「SK3500D」
- ・ハイブリッド油圧ショベルマグネット仕様機の開発
- ・除雪機械展示・実演会報告 ゆきみらい 2009 in 高岡

No.709「建設の施工企画」 2009年3月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成21年3月20日印刷

平成21年3月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322